

(一社)ビルディング・オートメーション協会 令和4年度 部会活動報告

2023年5月17日
令和5年度定時総会

調査研究部会

渡邊主査、眞壁理事、上原理事、岩城理事、

調査研究部会_業務概要 (1/2)

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目
1	国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課基準係（機械）	- 国土交通省発行の基準・標準類の改定に関する問合せ対応（基準・標準は3年サイクルで見直し） - 国土交通省からの自動制御、中央監視装置関連各種問合せ（随時）	「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」 第4編 自動制御設備工事	R.4年7月改訂版施行済	
			「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」 第4編 自動制御設備工事	R.4年7月改訂版施行済	
			「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」 自動制御機器、信号入出力条件	R.4年7月改訂版施行済	
			「建築設備計画基準 令和3年版」	R.3年3月施行⇒R6年3月施行予定	○
			「建築設備設計基準 令和3年版」	R.3年3月施行⇒R6年3月施行予定	○
			「納期遅延状況リスト（2022/5提出）」		○
2	国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課基準係（電気）	- 国土交通省発行の基準・標準類の改定に関する問合せ対応（基準・標準は3年サイクルで見直し） - 国土交通省からの電気中央監視装置関連問合せ（随時）	「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」第7編 中央監視制御設備工事	R.4年4月改訂版施行済	
			「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」 第7編 中央監視制御設備工事	R.4年4月改訂版施行済	
			「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」 第6編 中央監視制御設備工事	R.4年4月改訂版施行済	

調査研究部会_業務概要（2/2）

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目
3	一般社団法人 公共建築協会（PBA）	・国土交通省発行から委託を受けたPBAに対し、評価事業、工事管理指針の策定を協力（基準・標準は3年サイクルで見直し）	「令和3年度 評価事業（自動制御）の確認事項」		
			「機械設備工事監理指針 令和4年版」 改定委員会への参加	R.4年10月発行予定	
			「電気設備工事監理指針 令和4年版」 改定に関わる意見照会		
			自動制御評価基準について策定協力		○
4	一般財団法人 建築保全センター （国土交通省大臣官房官庁営繕部からの委託）		「建築保全業務共通仕様書 平成30年版」 「建築保全業務積算基準 平成30年版」 「建築保全業務積算要領 平成30年版」 改定に関わる調査		
5	経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課	「産業サイバーセキュリティ研究会WG1ビルSWG」に参画。パブコメ作成			○
6	東京都環境局-気候変動対策部	「VPP/DP」関係BA協会連携			○

R4調査研究部会活動 対国土交通省（1/2）

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目	R4年度実施事項
1	国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課基準係（機械）	- 国土交通省発行の基準・標準類の改定に関する問合せ対応（基準・標準は3年サイクルで見直し） - 国土交通省からの自動制御、中央監視装置関連各種問合せ（随時）				—
			「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」 第4編 自動制御設備工事	R.4年7月改訂版施行済		正誤内容問合せ（7月）⇒内容確認の上、回答済
			「建築設備計画基準 令和3年版」	R.3年3月施行⇒R6年3月施行予定	○	- 国交省より5月にBA協会へ改定意見照会あり ⇒調査研究部会にて協議の上、7月に改訂項目なしで回答済（1次） - 国交省より9月に改定内容に対する問合せあり ⇒調査研究部会にて協議の上、10月に回答を返信 - 国交省より1月に改定一次案に対する意見照会あり、3月に意見を取りまとめ返信済。 追ってヒアリングが実施される予定。（5月を想定）
			「建築設備設計基準 令和3年版」	R.3年3月施行⇒R6年3月施行予定	○	- 国交省より5/23にBA協会へ改定意見照会あり - 調査研究部会にて協議 7/14に改訂案回答済（1次） - 国交省より9/13に改定内容に対する問合せあり ⇒調査研究部会にて協議の上、10/3に回答を返信 - 国交省より1/31に改定一次案に対する意見照会あり、3/14に意見を取りまとめ返信済。 追ってヒアリングが実施される予定。（5月頃を想定）

R4調査研究部会活動 対国土交通省（2/2）

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目	R4年度実施事項
	国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課基準係（機械）	- 国土交通省発行の基準・標準類の改定に関する問合せ対応（基準・標準は3年サイクルで見直し） - 国土交通省からの自動制御、中央監視装置関連各種問合せ（随時）	「納期遅延状況リスト（2022/5提出）」	今後については未定	○	自動制御システム納期遅延状況についての問合せがあり対応実施（5月） - 納期遅延状況リスト提出（22/5時点の内容） -目的 納期遅延状況を正しく伝える事により、国交省ジョブ納期を適正に確保してもらう ※先方より指定されたフォーマットにて提出、本情報は国交省内部資料として扱う事を確認済 1月、納期遅延状況について5月から変化があるか確認あり⇒2月、大きな変化はないと回答済

R4調査研究部会活動 対公共建築協会（1/1）

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目	R4年度実施事項
3	一般社団法人 公共建築協会 (PBA)	・国土交通省発行から委託を受けたPBAに対し、評価事業、工事管理指針の策定を協力（基準・標準は3年サイクルで見直し）				—
			自動制御評価基準について策定協力		○	・ PBAより1月に令和5年度の自動制御評価基準見直し案について意見照会あり。 ・ 調査研究部会内で協議の上、2月に返信済。

R4調査研究部会活動 その他（1/1）

	対応部署	活動概要	成果物	タイムスケジュール	Y22主要活動項目	R4年度実施事項
5	経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課	「産業サイバーセキュリティ研究会WG1ビルSWG」に参画。パプコメ作成			○	・ 2022/7-9月 作業Gr会合参加（2回）およびガイド案レビュー実施。 ・ 2022/10月 ビルガイドライン（空調編）がビルサブワーキンググループにて承認され、経産省HPに公開された。 ・ 2023/1/31 R4第2回会合開催 ①各構成員報告（R4年度振り返り等）。 ②インシデントレスポンス検討状況の共有。他 →②ガイドライン（共通編付属書）パブリックコメント中：-3/17まで ※同時に共通編本体ガイド第2版（案）実施中。 ※パブリックコメント結果をビルサブワーキンググループで確認後、正式公開。 ※公開・発行：R5年度予定（5月を想定）。
6	東京都環境局-気候変動対策部	「VPP/DP」関係BA協会連携			○	・ 東京都資料に対するコメントを返信。具体的活動は今後判明（東京都からの連絡待ち）

広報出版部会

内藤主査、寺林理事

2022年度広報出版部会活動報告

1. ホームページコンテンツの維持、更新を行った。
 - ・ 更新内容は、官庁通達、総会、理事会議事内容、視察報告等。
 - ・ 体制、会員情報変更等の情報を修正、更新した。
 - ・ ホームページの会員ページのパスワードについては、
会員更新時に合わせて変更を実施した。
2. 2022年度版パンフレットを製作し印刷。関係者に配布した。
3. オンラインセミナー実施にあたり、運営企画、現場指示を行った。
4. 計装工業会機関誌「計装技術」に、2020年度実施の換気量実測調査内容、
及びセミナーについて記事を作成し寄稿した。

広報出版部会活動報告

■HP更新:2022年4月1日（金）～2023年3月31日（月）

・官公庁通達：74件

内訳：月別：4月 4件、5月 5件、6月 5件、7月3件、8月11件
9月 8件 10月 5件 11月 11件 12月 13件
1月 7件、2月 2件

内訳(更新)：内容別：国土交通省不動産建設経済局 51件
国土交通省 5件、経済産業省 5件
厚生労働省 2件、その他 11件

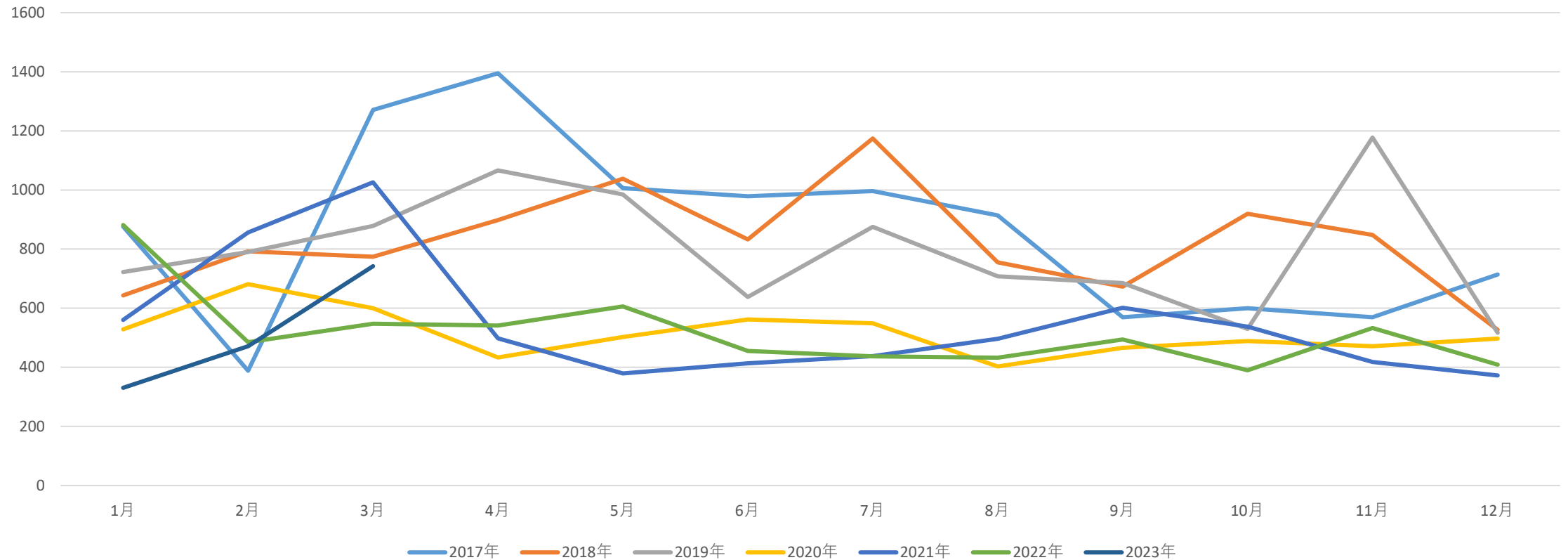
・会員向けコンテンツ用アクセスパスワード変更

ホームページ更新・アクセス実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2017年	876	388	1271	1395	1006	979	996	914	569	600	569	714	10312
2018年	643	792	774	898	1,038	833	1,174	755	673	919	848	527	9874
2019年	722	790	878	1,066	985	638	875	708	685	530	1,177	517	9571
2020年	528	681	600	433	502	562	549	403	466	489	471	497	6181
2021年	560	856	1,026	498	379	413	438	496	601	537	418	372	6594
2022年	881	485	547	541	606	455	437	432	494	390	533	409	6210
2023年	330	471	742										1543

アクセス数グラフ

アクセス数



令和4年度の活動

■ 定常活動

- ・パンフレット更新印刷
- ・HP維持更新

最新情報はホームページをご覧ください



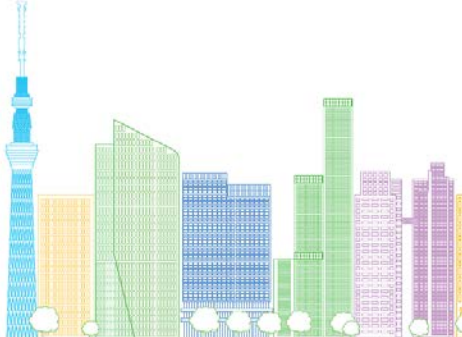
URL:<http://www.ba-system.org/>



一般社団法人
ビルディング・オートメーション協会
Building Automation Association

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-5 銀座27中央ビル6階
TEL:03-3248-0889



協会の活動方針 一般社団法人ビルディング・オートメーション協会は、ビルディング・オートメーションシステムの動向調査・研究・教育・会員相互の連絡の増進などを行う。自主システムの普及と優秀人材の確保をはかる事業を行うこと。その成果をもって、わが国のビルディング・オートメーションの業界の発展に貢献し、各企業へ、密接な関係を保ち、安全などを通じて、国民の生活や住環境の健全な発展に貢献することを旨としています。	会員特典 ① 国土交通省所管の専門調査会の会員として建設業界での信頼が得られます。 ② 国土交通省所管の建築の動向をいち早く知る事が出来ます。 ③ 業界の現状や最新技術に関する研究会、研修会、講習会に参加できます。 ④ 役員の士業や最新技術の勉強会に参加できます。 ⑤ 協会の作成した出版物、資料を使用できます。
協会の沿革 1997年 建設省（現国土交通省）所轄の任意団体として設立 2011年 一般社団法人へ移行	会員の種別 (正会員) ビルディング・オートメーションに関わる中央統括装置や自動制御機器製造などの製造販売を主たる業務とし、この他にビルディング・オートメーションシステムの販売、計装工事に関する企業 (特別会員) この法人に加盟の方々の外、学術機関等又は学術的研究分野で専攻事項と関連のある者又は団体
協会の事業 設立の目的を達成するため、以下の事業を実施しています。 ① 最先端レポート提供をはじめとする調査・研究 ② ビルディング・オートメーション業界の設備調査・研究 ③ ビルディング・オートメーション業界の発展のための勉強会、講演会の企画・実施 ④ 業界内で対応に必要な問題の解決、研修会等の企画・実施 ⑤ 学会賞や参加による表彰制度を実施し、活躍の士業や最新技術の開発者（ユーザー・パートナー）によるビルディング・オートメーション協会及び業界の広報活動を支援 ⑥ 国土交通省、公正取引委員会等からの決裁事項への協会の委員への参画 ⑦ 広報記事等から協会の広報戦略の決定 ※年度報告書とのコミュニケーションによる情報交換と連携	会員数 (2020年4月1日現在) (正会員) 37社 (特別会員) 20社
協会の組織	入会の流れ ① 事務局にてお問い合わせください。 ② 事務局からの案内文・入会希望確認書を全てお送りさせていただきます。 ③ お申し込み後、事務局より承認された後、入会手続きが可能となります。 正会員費 入会費：3万円 年会費：一万円 ※年費満了時に年会費は、自動的に再納入いただきます。

支援項目：オンラインセミナー報告

広報出版部会の各部会活動支援項目

■ HP掲載

周知の必要がある内容をHPにコンテンツ作成して掲載

■ イベント（セミナー）支援

イベント企画、準備、実施の支援の実施

■ 3/10 オンラインセミナーでの支援内容

- ・ オンラインの方法やスタジオ設定の企画及び進行管理を実施
- ・ セミナー内容の検討
- ・ HPでの報告、資料掲載

教育視察部会

朝妻主査、増田理事、宇賀神理事

令和4年度の活動実績

日付	活動内容	主催
'22/5/19	令和4年度定時総会※講演会はコロナ対策により中止 (ラゾーナ川崎東芝ビル 417会議室)	教育視察部会
'22/5/26	第1回研鑽会（リアル開催） 「最新バージョンBACnet2020の基本」講習会参加 ※電気設備学会主催 ※BA協会会員より6名を参加費補助にて参加	教育視察部会
'22/12/1 6	第2回研鑽会（リアル開催） 「BACSにおけるBACnetの実際適用」講習会参加 ※電気設備学会主催 ※BA協会会員より5名を参加費補助にて参加	教育視察部会
'23/3/10	第3回研鑽会（オンライン開催） オンラインセミナー開催 BA協会主催 187名参加 テーマ：『つくる／ためる／賢くつかう』カーボンニュートラル時代のビルエネルギー ※講師3名、司会1名にてブイキューブスタジオから生配信	教育視察部会 広報出版部会
'23/5/18	令和5年度定時総会 (東京都赤坂 ホテルニューオータニ)	幹事会社 + 事務局

令和4年度 第1回研鑽会

- テーマ：最新バージョンBACnet2020の基本（電気設備学会主催）
- 日時：2022年5月26日 9:30～16:50
- 場所：東京電業会館地下大会議室
- 住所：東京都港区元赤坂1-7-8
- 主催：（一社）電気設備学会
- 共催：（一社）BA協会
- 当日連絡先：03-6206-2720（電気設備学会本部）
- 出席予定者数：先着6名（BA協会枠）
- 参加費：無料（BA協会負担）



- 目的：

ブロードキャスト通信を使用したBACnet/IPは、インターネット接続に課題があります。

最新のBACnet2020では、これを解決するIPフレンドリーなBACnetにするために、BACnet Network Layer 下位のデータリンク層以下にWebSocketを使用したBACnet/SC（Secure Connect）が、ANSI/ASHRAE規格追加されました。本講習会ではBACnet2020の概要と日本における適用について解説します。

尚、本講習会はBA業界のスキル向上を目的に、BA協会共催として開催致します。

（電気設備学会URL：<https://www.ieiej.or.jp/service/seminar/fy2020/20201127.html>）

令和4年度 第1回研鑽会

■講演内容(2022/5/26)

時間	内容	講師
09:30～10:20	挨拶、BACnetの発展と国際化及び電設学会の役割	豊田 武二氏 豊田SI技術士事務所
10:20～11:10	BACSへのBACnet導入基礎知識	藤井六郎氏 アズビル
11:10～12:10	プロトコルの構成：アプリケーション層、ネットワーク層とデータリンク	伊藤弘氏 アズビル
12:10～13:20	休憩	
13:20～14:20	オブジェクトとサービス	鈴木 智幸氏 ジョンソンコントロールズ
14:20～15:00	BIBBとBACnetデバイス	渡邊 健司氏 三菱電機
15:00～15:10	休憩	
15:10～15:50	BACnet/WSとクラウドサービス	大山 晋平氏 日立製作所
15:50～16:40	BACnet/SCの概要、BACnet/SCネットワーク	朝妻 智裕氏 東芝インフラシステムズ
16:40～16:50	質疑応答	講師全員

令和4年度 第2回研鑽会

- ・ テーマ：「BACSにおけるBACnetの実際適用」講習会（電気設備学会主催）
- ・ 日時：2022年12月16日 9:30～16:50
- ・ 場所：東京電業会館地下大会議室
- ・ 住所：東京都港区元赤坂1－7－8
- ・ 主催：（一社）電気設備学会
- ・ 共催：（一社）BA協会
- ・ 当日連絡先：03-6206-2720（電気設備学会本部）
- ・ 出席予定者数：先着5名（BA協会枠）
- ・ 参加費：無料（BA協会負担）



- ・ 目的：
中央監視装置のマルチベンダー接続の普及に、ISO規格であるBACnetが大きく貢献してきました。
日本においてはBACnet2000から適用が始まり現在BACnet2016に移行中です。
本講習会では中央監視装置におけるBACnetの適用について幅広く解説します。
尚、本講習会はBA業界のスキル向上を目的に、BA協会共催として開催致します。
(電気設備学会URL： <https://www.ieiej.or.jp/service/seminar/fy2022/20221216-2.html>)

令和4年度 第2回研鑽会

■ 講演内容(2022/12/16)

時間	内容	講師
09:30～10:20	開催挨拶、BACS計画の実際（ISO16484-1を含む）	豊田 武二氏 豊田SI技術士事務所
10:20～11:10	ネットワーク構成の実際（稼動（死活）管理を含み）、BACnet/SCの適用	鈴木 智幸氏 ジョンソンコントロールズ
11:10～12:00	状態監視、故障監視の実際（イベント関係のモニタリングとその応用）	伊藤 弘氏 アズビル
12:00～13:10	休憩	
13:10～14:00	計測、計量、トレンドおよびエネルギー管理の実際	関山 雅雄氏 NECネットエスアイ
14:00～14:50	スケジュール制御等の省エネ制御の実際	藤井 六郎氏 アズビル
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:50	マルチベンダーシステムにおけるエンジニアリングの実際	朝妻 智裕 東芝インフラシステムズ
15:50～16:40	インターネット活用 of 実際（BACnet/WSのビル群管理への応用、サイバーセキュリティ対策）	大山 晋平氏 日立製作所
16:40～16:50	質疑応答	講師全員

令和4年度 第3回研鑽会

- ・ テーマ：『つくる／ためる／賢くつかう』カーボンニュートラル時代のビルエネルギー
- ・ 日時：2023年3月10日14:00～16:00
- ・ 場所：オンラインセミナー（ブイキューブプラチナスタジオより配信）
- ・ 住所：〒108 0072 東京都港区白金一丁目 17 番 3 号 NBF プラチナタワー 10 階
- ・ 出席予定者数：最大300名募集（Web参加）
- ・ 参加費：無料（BA協会負担）
- ・ 主催：BA協会 教育視察部会・広報出版部会共済
- ・ 目的：

エネルギー効率利用について、「“つくる、ためる、賢くつかう”カーボンニュートラル時代のビルエネルギー」をテーマにそれぞれの視点から講演頂き、ビルディングオートメーションに関係する事柄をパネリストの先生方に相互にお話頂き、視聴することで、会員企業およびお客様の研鑽の機会として開催致します。参加するパネリストは以下の通りです。

■講演テーマ

No.	講演テーマ	所属・氏名
1	【つくる】 エネルギーをつくるこれからの太陽光発電システム	福井大学 学術研究院工学系部門 伊藤 雅一(Ito Masakazu) 准教授
2	【ためる】 ビルで熱をためる理由とその効果	東京電機大学 未来科学部建築学科 百田 真史 (Momota Masashi) 教授
3	【賢くつかう】 在宅勤務時を含め住宅や建築物でエネルギーを賢くつかう	神奈川大学 建築学部 建築学科 芹川 真緒 (Serikawa Mao) 准教授

令和4年度 第3回研鑽会

総勢187名
登録

■講演内容(2023/3/10)

時間	題目	担当
14:00	講演中の注意事項・アジェンダ紹介	司会
14:02	ビルディング・オートメーション協会代表 開催挨拶	副会長
14:07	各講師紹介及び挨拶	司会
14:10 14:35	講演【つくる】エネルギーをつくるこれからの太陽光発電システム 会員質問紹介、回答	伊藤先生
14:40 15:05	講演【ためる】ビルで熱をためる理由とその効果 会員質問紹介、回答	百田先生
15:10 15:35	講演【賢くつかう】在宅勤務時を含め住宅や建築物でエネルギーを賢く使う 会員質問紹介、回答	芹川先生
15:40	ディスカッション（質問紹介、各講師コメント）	講師全員
15:55	ビルディング・オートメーション協会理事 閉会挨拶	理事長

令和4年度 第3回研鑽会

■アンケート実施

 (一社)ビルディング・オートメーション協会

2023年3月10日開催
講習会「つくる、ためる、賢くつかう」カーボンニュートラル時代のビルエネルギー」アンケート

会社名： _____
氏名： _____

このアンケートは、今後、更なる講習会の質の向上、参加者のニーズに応える為の基礎資料と致したので、次の質問にお答えください。ご協力をお願い致します。(回答期限：2023年3月31日)
尚、アンケートの回収は、講習会終了後メールにて事務局a.comasa.op@azbil.comまで返信お願い致します。

質問1. あなたの所属する会社(又は個人)の業種は (□に■を記入)
□設計事務所 □建設会社 □工務会社 □その他()
□その他の製造業 □学生 □自営業 ()

質問2. あなたの年代は (□に■を記入)
□10歳代 □20歳代 □30歳代 □40歳代 □50歳代 □60歳代以上

質問3. BA (ビルオートメーション) に関して (□に■を記入)
□3年未満 □3年以上5年未満 □5年以上10年未満 □10年以上

質問4. あなたのお住まいは (□に■を記入)
□東北 □関東 □中部 □関西 □その他 ()

質問5. この講習会の参加のきっかけは (□に■を記入)
□BA協会からの開催メール □BA協会ホームページ □知人(会社含む)からの紹介 □その他 ()

質問6. 各講習を受講した結果、皆様の理解度や要望についてご回答ください。(□に■を記入)

a) ...「ZEBの動向とカーボンニュートラルの実現に向けて」
講習内容： □理解できた □まあまあ理解できた □理解できなかった箇所があった【詳細記入してください】 ()
□今回の受講でこの分野のさらに深い講習が聞きたいと思った

b) ...「カーボンニュートラル時代のエネルギーマネジメント」
講習内容： □理解できた □まあまあ理解できた □理解できなかった箇所があった【詳細記入してください】 ()
□今回の受講でこの分野のさらに深い講習が聞きたいと思った

c) ...「ZEBの動向とカーボンニュートラルの実現に向けて」
講習内容： □理解できた □まあまあ理解できた □理解できなかった箇所があった【詳細記入してください】 ()
□今回の受講でこの分野のさらに深い講習が聞きたいと思った

裏面へ

関西や九州等遠
方の参加者増加

質問7. 本セミナーの実施方法について感想をご回答ください。(□に■を記入)

d) ...進行方法
聞き易さ： □聞き易い □聞き難い
時間配分： □丁度よい □もっと長い方がよい □もっと短い方がよい
司会進行： □講師間の配分を考慮し適切なタイミングで司会進行しやすかった □その他 ()

e) ...オンライン配信環境
開催方法： □オンライン開催がよい □リアル開催がよい □今の状況ではオンライン
接続方法： □簡単にログインできた □接続に手間取った □接続が途切れた
操作方法： □容易に操作できた □不慣れで操作に戸惑った
画面環境： □普通 □見やすかった □見にくかった【詳細記入してください】 ()
視聴環境： □普通 □見やすかった □聞き難かった【詳細記入してください】 ()

記述式質問
内容・テーマ、その他についてご意見等がありましたら、ご記入ください。 ()

質問9. BA協会や、BA業界について、意見がありましたらご自由にお書きください。

(一社)ビルディングオートメーション協会 一同

進行がスムーズ
時間配分が最適

オンライン開催を
望む方が大多数

見やすい！
聞き易い！

専用スタジオから生配信することで、昨年度より大幅に視聴環境が改善

コンプライアンス部会

岩崎主査、木村理事、赤井理事

重層下請についての協議 - 1

- メンバー BA 協会 : 小澤理事長、伊藤事務局長、渡邊理事、増田理事、宇賀神理事
(敬称など省略) コンプラ部会 → 岩崎主査、赤井理事、木村理事
アズビル / ジョンソンコントロールズ
- 協議内容 : 重層下請構造改善に関する課題解決
→ 業界の現状把握 / 国交省、業界団体、G C等への申し入れ
- ・ 2022年 2月16日 (第 1 回打合せ)
_ 参加各社の状況ヒヤリング、国交省のどの部署に面談を申し込むのか 等
- ・ 2022年 3月16日 (第 2 回打合せ)
_ 国交省陳情で現状課題の見解を伺う → 当業界ではリスクが少ない事を明言 他
- ・ 2022年 4月14日 (第 3 回打合せ)
_ 現在の業界の仕組みが適切であることを示す説明資料をどうするか 等
- ・ 2022年 5月13日 (第 4 回打合せ)
_ 国交省はNGと言っていない、一部GCが原則2次までとしている 他

重層下請についての協議－2

- ・ 2022年 6月 3日 国土交通省 不動産・建設経済局への陳情実施
 - _ BA協会メンバー：小澤理事長、伊藤事務局長、岩崎理事
 - _ 現況説明と情報交換、国の考えを確認し対応策へのアドバイスを頂く
- ・ 2022年 6月21日（第5回打合せ）
 - _ 国交省陳情の報告、日建連やG Cへコンタクト優先順位の検討
 - _ 例外工種の要件確認、4次を認めてもらう方策検討 等
- ・ 2022年 7月13日 パナソニック防災システムズ殿 ヒヤリング
 - _ BA協会メンバー：小澤理事長、伊藤事務局長、宇賀神理事
- ・ 2022年11月 1日 東洋熱工業殿 ヒヤリング
 - _ BA協会メンバー：小澤理事長、伊藤事務局長、岩崎理事
- ・ 2022年11月15日 高砂熱学工業殿 ヒヤリング
 - _ BA協会メンバー：小澤理事長、伊藤事務局長、岩崎理事
- ・ 2022年12月13日（第6回打合せ）
 - _ ヒヤリング報告、今後の進め方についてのまとめ等の協議および確認

重層下請についての協議－3

- ・ 2023年 1月 11日 東洋熱工業 および 高砂熱学工業 年始挨拶を兼ねて訪問
_ BA協会メンバー：小澤理事長、岩崎理事
- ・ 2023年 2月 28日 高砂熱学工業 ヒヤリング <2回目>
_ 日空衛陳情への橋渡しを依頼。また「見積書添付資料[案]」を見て頂きご意見を伺った。
- ・ 2023年 3月 10日 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会（略称：日空衛）訪問
_ 訪問メンバー：高砂熱学工業、BA協会：小澤理事長、岩崎理事
_ 「見積書提出時の添付資料」に対する意見を伺い、“参考資料”として受取って頂くことを了承頂いた。また、今後も情報交換を継続して行くことを確認。
- ・ 2023年 4月 18日 （第7回打合せ）
_ 日空衛ヒヤリング報告、「見積書添付資料[案]」の修正および活用方法を協議。
- ・ 2023年 5月 9日 高砂熱学工業 訪問
_ 修正した「見積書添付資料[案]」をご確認頂き、高砂殿経由で日空衛へ提出して頂くこと改めて依頼をした。
- ・ 2023年 5月 11日 （第8回打合せ／最終回）
_ 修正した「見積書添付資料[案]」を確認し、各社の事情の下で運用をしてもらうことを確認。

重層下請についての協議 <まとめ>

● 重層下請構造改革関連拡大会議 最終報告

1. 短期的：大手GC等の「重層下請 原則2次まで」についての対応策
 - ・ 見積書添付資料の展開
 - 「弊社見積の計装工事請負体制について」を会員会社への展開検討
2. 長期的：重層下請問題に賛同し業界の認識を変えていく活動
 - ・ 本来の主旨を前提に展開する
 - 安全・品質管理の更なる強化（労災防止、信頼信用）
処遇改善、地位向上（収入、残業、休み、CCUS登録促進）
 - ・ GC一括重層構造対応として“3次まで”に収まる施工体制の整備
 - ・ GC直または元請施工に耐えられる施工体制の構築
 - 必要知識の習得、担当者の指導育成、技能者のスキル向上

第2回 建設キャリアアップ処遇改善推進協議会 – 1

1. 日時：令和4年10月6日（木）14:00～16:00
2. 会場：TKP新橋カンファレンスセンター
3. 議事
 - (1) 令和4年度 公共事業労務費調査の実施について
 - (2) 建設キャリアアップの推進について
 - (3) 建退協電子申請とCCUS連携について
 - (4) 今後の協議会重点課題について
4. 連絡事項
 - ・ 特定技能に関する制度改正について
 - ・ 持続的な建設業に向けた環境整備検討会
 - ・ 適正な工期の確保について
5. 意見交換 他

第2回 建設キャリアアップ処遇改善推進協議会 – 2

◎主な内容として

今後の協議会重点課題（総括）

①建設キャリアアップの活用推進

技能者が技能・経験に応じて適切に処遇され働き続けられる環境を実現し、建設業が「地域の守り手」として将来に渡り持続的な役割を担っていく為の取組を実施。

- ・元請企業による環境整備を強化
- ・他制度との連携強化による機能の充実
- ・CCUSを活用した技能者の処遇改善

②一人親方対策の推進

技能者の一人親方化を進める動きに注視し、技能者の処遇改善と法定福利費等を適正に負担する企業による公平・健全な競争環境の確保の為の取組を実施。

- ・働き方自己診断チェックリストの活用促進
- ・建設業の一人親方問題に関する検討会にて示された今後の方針に係る検討

③建退協⇔CCUS連携の利用促進

技能者の退職金掛金納付を効率化する事により、就労実績に応じた退職金の支払いがなされるよう取組を実施。

- ・公共工事に於ける発注者による掛金納付の履行確認の徹底

建設業特定技能外国人制度の説明会

1. 日時：令和4年11月11日（金）14:00～
 2. 会場：浜離宮建設プラザ／Web同時開催
 3. 議事
 - (1) 特定技能外国人制度（建設分野）の概要説明
 - (2) 特定技能外国人を受入れるための具体的手続き
 - (3) 事例紹介
 4. 質疑応答
- ◎主な内容として
- ①受入れ企業がすべき事項
 - ②「建設特定技能受入計画」の申請について
 - ③特定技能の受入費用について
 - ④在留資格の変更について
 - ⑤一般社団法人 建設技能人材機構（JAC）の事業概要

以上